

上下水道ビジョン

問 経営戦略課 ☎024-932-7644

上下水道局では、将来を見据え、持続的かつ安定的な事業運営を目指すため、これまでの郡山市上下水道ビジョンについて中間改定を行い、「郡山市上下水道ビジョン2.0～郡山市上下水道事業経営戦略～」としました。

策定の目的

本市は、安積開拓・安積疏水開さく事業に端を発し、発展を続けています。そのような中、法改正や自然災害の増加など、上下水道事業を取り巻く環境が変化しています。

そこで、「水循環」という基本認識のもとに、将来のあるべき姿とそれを実現するための取り組みなどをまとめたビジョンを策定・展開して、持続可能な事業運営を目指します。

計画期間

2020(令和2)年度～2029(令和11)年度

上下水道事業の現状と課題

共 通…人口減少、広域連携など

水 道 事 業…水道施設の耐震化・更新需要、料金水準など

下水道事業…汚水処理、雨水対策、下水道管路の耐震化・更新需要、使用料金水準など

基本理念

「次世代へつなぐ持続可能な水循環社会の創造」

基本方針



基本方針を実現するさまざま取り組みは市ウェブサイトをご覧ください。



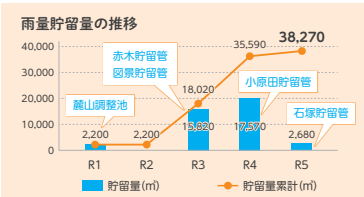
郡山市ゲリラ豪雨対策9年プラン

問 下水道整備課 ☎024-932-7672

「郡山市ゲリラ豪雨対策9年プラン」は、2014(平成26)年に、国の「100mm/h安心プラン」へ東北地方で初めて登録されました。同プランは、都市型浸水被害に対し、関係分野の行政機関や住民などが連携して被害の軽減を図る取り組みを支援するため、国土交通省が創設した制度です。

国・県が河川の整備を進める中、上下水道局では、プランに基づき、雨水を一時的に貯める「雨水貯留施設」などの整備を市内5地区で進めました。(関連22ページ)

雨水貯留施設名	雨水貯留量
①麓山調整池(2019年6月供用開始)	2,200㎡
②図景貯留管(2021年9月供用開始)	6,660㎡
③赤木貯留管(2021年10月供用開始)	9,160㎡
④小原田貯留管(2023年1月供用開始)	17,570㎡
⑤石塚貯留管(2023年8月供用開始)	2,680㎡
合 計	38,270㎡



水道・下水道事業の経営

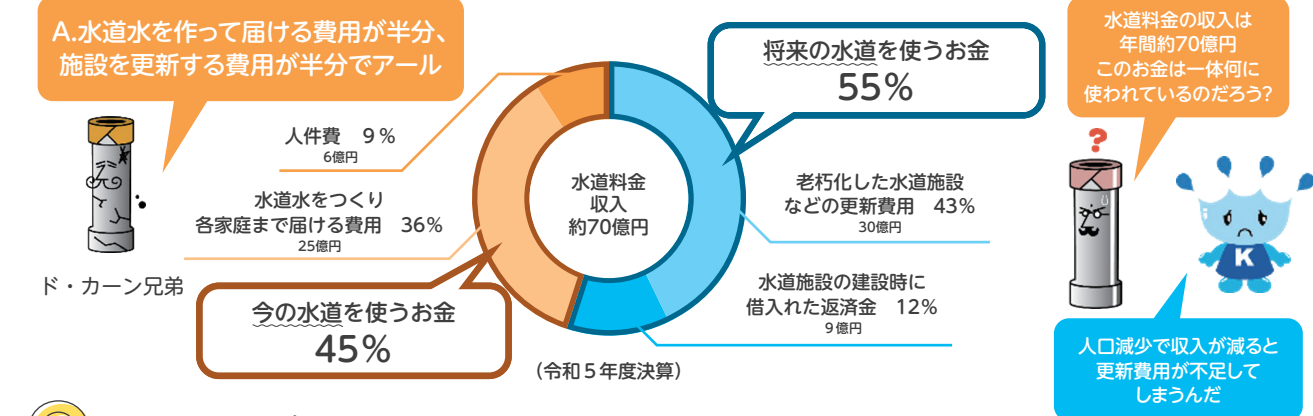
問 経営戦略課 ☎024-932-7644

水道事業の経営

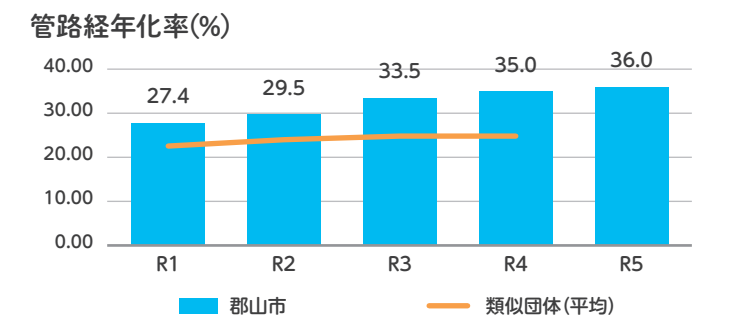
水道事業の経営に必要な資金のほとんどは、一般行政と異なり、税金ではなく水道料金でまかなっています。つまり、水道事業は公営の企業として水道料金を基本的財源とし、独立採算で経営しています。安全・安心な水道水を安定して供給し続けるため、水道の施設を拡張・改良するときの多額の資金は、国などからの借入金である「企業債」でまかなっています。お客様にお支払いいただいた水道料金により、施設の維持管理や借入金の返済を行っています。



水道料金の使い道は？



水道料金が安くなるとうなるの？



※管路経年化率とは、水道管全延長に対する法定耐用年数40年を経過した水道管の延長の割合。

下水道事業の経営

下水道事業では、自然現象である雨水処理にかかる経費については、雨水排除による受益が広く市民におよぶことから、市税収入などの一般会計によりまかなわれます。

一方、日常生活や生産活動で生じる汚水の処理経費については、下水道使用料でまかなわれています。(雨水公費・汚水私費の原則)

